

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年4月21日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：松浦長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○松浦総務課長 それでは、皆様のお手元の広報日程に基づきまして、私の方から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2.の（1）番、4月21日金曜日、本日の審査会合でございます。議題といたしましては、日本原電の東海第二発電所につきまして、津波についてのコメント回答を現在頂いたところでございます。

続きまして、同じく1ページ目、4月25日火曜日、（2）番の審査会合でございます。こちらはJAEAの試験研究用原子炉でございます「常陽」につきまして、3月30日に設置変更許可の申請が原子力規制委員会に提出されたところでございます。今回の審査会合は、このため、初回の審査会合ということで、JAEAの方からお話を伺う予定でございます。

続きまして、2ページ目、4月26日水曜日、（5）番の審査会合でございます。こちらはJAEAの大洗にございます廃棄物管理施設につきまして、竜巻対策につきましてJAEAの方からお話を伺う予定でございます。

続きまして、同じく4月26日水曜日、（7）番、第1回の使用済燃料輸送・貯蔵兼用キャスク貯蔵に関する検討チームでございます。こちらはいわゆる乾式キャスクについての審査基準の検討チームでございますけれども、皆様も御承知だと思いますけれども、2月15日の原子力規制委員会におきまして、委員長の方からキャスクの審査基準につきまして問題提起があったところでございます。このため事務方の方で検討チームも構成いたしまして、第1回目として、今回、検討チームの初会合を行うところでございます。

議題といたしましては、そこにございますように、まず、基準の見直しにつきましての考え方につきまして事務方から説明いたします。

また、議題の2番目といたしまして、全国一律の地震力の想定についても、事務方の方から説明して議論をする予定でございます。

続きまして、4月27日木曜日、（8）番、検査制度の見直しに関するワーキンググループでございます。

議題といたしましては、まず、検査制度改正に関する法律が成立いたしましたので、その件について事務方から報告するとともに、議題の2番目といたしまして、検査制度

の改正につきまして、現在、原子力事業者等の方々に説明会を開催しているところがございます。そこでありました質問と回答につきまして、整理してお示しする予定でございます。

また、議題の3番目といたしましては、これまで当該ワーキンググループ、7回行っておりますけれども、その中で指摘された課題につきまして整理いたしました。また、今後の検討につきましても、事務方の方から説明して意見交換をする予定でございます。私の方からは以上です。

### <質疑応答>

○司会 それでは、いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問の方をお願いします。

質問のある方は手を挙げてください。ハナダさん。

○記者 NHKのハナダです。

キャスクの検討チームの議題の2番目の件なのですが、この全国一律の地震力の想定というふうなものは、詳しくは当日聞いてみますけれども、こういったイメージなのか教えてもらえますか。

○松浦総務課長 こちらはまさに2月15日の委員会におきまして、現在、キャスクを使って使用済燃料を貯蔵する際に、キャスクを固定する支持基盤のようなものにつきまして、Sクラスの想定になって、そうすると、基準地震動について、それぞれのサイトで策定しなければならないと。皆さんも御承知のように、基準地震動を作成するというのは非常に時間がかかる作業でして、極めて事業者も、あと、我々事務方も労力がかかる作業でございます。

その中で、乾式キャスクというものは、そもそも輸送用に使われていて非常に丈夫で、仮に地震が起こってもそれほど破損しないだろうという、そんな考えのもとで作られたものですので、そういったサイト個別に基準地震動を作る必要があるのかどうかという問題意識でそもそもこの検討チームというのは開催されておりますので、個別のサイトごとに基準地震動を作るのではなくて、全国一律に基準地震動を作ってはどうかというような問題意識で始まっていますので、その考え方について、議題の2番目として、まず事務方から考えを示して議論を始めると、そういったことです。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。アベさん。

○記者 日経新聞のアベです。

常陽の申請の概要について、来週の火曜日のものなのですが、この概要というのは、今後のこの審査の進め方とか、そうした何か大枠について話し合うという、そういう感じになるのでしょうか。

○松浦総務課長 まず、申請の中身について、JAEAの方からお話を伺うということになると思います。それを踏まえて今後のスケジュールなども話し合われるのではないかとと思いますが、まずは申請の中身を一通りJAEAの方からお考えを伺うということに尽きると思います。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞のヒガシヤマでございます。

来週木曜日の特重の審査会合なのですけれども、これは事業者はまだ決まっていないということでしょうか。

○松浦総務課長 はい、まだここは事業者は決まっていないということでございます。また火曜日にでも御報告できると思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—